

四日市港地震・津波対策検討会議（第1回） 議事概要等

日時：平成23年9月29日 10:00～11:30
場所：じばさん三重 5階大研修室

1. 開 会

2. ビデオ上映

「東日本大震災の記録」中部地方整備局港湾空港部編集

3. 会議の主旨

・・・【資料－1】

4. 出席者紹介

【配席図・出席者名簿】

5. 座長挨拶

- ・地震・津波の問題は、東日本大震災3.11以降、国民的な関心。「ふりかえれば未来」という言葉がある。大変、難しい問題であるが、皆様の協力を得つつ、過去の事例を参考にしながら考えていくことになると思う。

6. 議 事

(1) 港湾における総合的な津波対策のあり方について 【資料－2】

- ・事務局より中部の港湾における地震・津波対策検討について「目的」「検討内容」「検討体制」「検討スケジュール」を説明

(2) 四日市港の地震・津波対策の現状について ・・・【資料－3】

- ・事務局より説明

- ①四日市港における耐震強化岸壁の整備状況を報告
緊急物資輸送はH26dまでに耐震強化岸壁整備率100%
コンテナ輸送は1バース計画

- ②四日市港における防波堤の耐震性・耐津波性能を報告
現在、東海・東南海・南海地震で想定される津波が来襲した場合に防波堤が倒壊する恐れは小さい。

(3) 意見交換

【企業からの意見】

- ①コンテナの安全性
現在の基準では、耐震化整備済み
中央防災会議の検討を注視している。
- ②安全に避難する
霞地区には従業員6000人。
非難する場合、霞大橋1本のみであり課題

【四日市港管理組合】

- ①岸壁の耐震化を実施中（W15）
- ②液状化対策などの護岸補強工事を実施中
- ③中央防災会議の結果により整備のあり方を見直していきたい。

【三重県】

- ①朝明川河口部の嵩上げ工事、磯津地区の離岸堤整備を実施中
- ②護岸の状況把握を実施し、整備の優先度を検討中。

【四日市港運協会】

- ①人の命が一番大切
震地区には、物流関係者等も含めると1万人。
避難には車を使うが、震大橋1本しかないため、震4号幹線の
早期整備を要望
- ②（コンテナ輸送の）耐震岸壁の早期整備を要望

【四日市市】

- ①三重県と情報共有しつつ、M9に対応した津波ハザードマップ
を作成中。

【座長】

- ①S19.12.6の地震体験談
- ②今回の第1回会議では、港湾や海岸施設の整備状況について、
皆様に現状認識をして頂いた。
次回の会議では各企業の防災対策や港湾・海岸整備に対する要
望等について、ご紹介頂きたい。

以 上